

日本ボストン会会報

発行者 日本ボストン会事務局 227-0045 横浜市青葉区若草台8-28 Fax 045-962-0866

日本/ニューイングランド交流の記録出版企画の提案

代表幹事 藤崎博也

ボストン、マサチューセッツ、そしてニューイングランドは、本会の会員の一人一人にとって忘れ難い思い出と愛着の対象であることは申すまでもありませんが、同時にそれは、現在のアメリカ国家の誕生の地であり、また日本とアメリカの交流の発端を開き、近代日本の発展に影響を与えた歴史上の多くの人々が活躍した地でもあります。

私は平成8年の10月に本会の代表幹事を仰せつかって以来、会員の皆さんの旺盛なボランティア精神と、それに支えられた数々の有意義な活動に、いつも敬服しておりますが、それに加えて、この会の活動の一部分でも、具体的な記録としてまとめ、さらに広い範囲の人々のために役立つ方法はないかと考えて参りました。

幸い当会には「ニューイングランドと日本の歴史研究会」と「歴史を飲もう会」があり、活発に活動しております。そこで「日本とニューイングランドの交流の歴史」に関する出版を企画し、幹事会に提案しましたところ積極的な賛同が得られました。

この企画は先ず会員の手作りで自費出版を行い、その後出版社に出版をお願いするという2段階で行

うものです。最初の自費出版には執筆希望の会員に出来るだけ参加して戴きたいと思っています。以下に現在の計画の内容を示しますので、参加希望者は執筆希望項目(自由)とともに藤崎副代表幹事までご連絡下さい。

出版計画

- 1) タイトル: 未定ですが、「日本の歴史を作ったボストン人脈」、或いは「ボストン・ニューイングランドと日本の交流の歴史」など
- 2) 編集: 委員長(藤崎) 幹事(藤盛・篠崎・関他数名)(希望者を募集中です)
- 3) 執筆申込締切: 1998年11月13日(総会当日)
- 4) 第1次原稿締切: 1998年12月31日
- 5) 原稿: なるべくワープロで作成し、ハードコピー1部およびフロッピー1枚を提出(ワープロの機種を明記)。手書きの場合には、読みやすく清書した原稿を提出(手元にコピーを保存)。
- 6) 書式: A4サイズ 縦1ページ、横書、1行全角40字40行
- 7) 第1次原稿出版: 1999年4月発行予定
- 8) 費用: 原稿提出時1編当たり2000円。
(3ページに続く.....)

総会・懇親会のお知らせ

(ボストン日本人会「いこいの場」里帰りグループ歓迎会)

日時: 平成10年11月13日(金) 午後6時開場、午後6時半開会
 場所: NEC三田ハウス芝クラブ(JR田町駅、都営地下鉄三田線三田駅下車)
 港区芝5-21-7、電話03-5443-1400
 出席者会費: 当日払い お一人6000円/同伴者5000円
 事前送金 お一人5000円/同伴者5000円
 送金方法: 銀行送金 第一勧業銀行浜松町支店シーバンス出張所
 普通預金口座番号 1578981 口座名「日本ボストン会」
 申込み先: 日本ボストン会事務局(同封葉書にて10月31日までに投函してお知らせ下さい)
 ご欠席の方をお願い申し上げます。 通信費としてご寄付(1000円)をご送金願えれば幸いに存じます。(郵便振替用紙同封)
 送金先: 郵便振替 00130-1-401731 日本ボストン会

ボストン日本人会

日本ボストン会会員の皆様へ

ボストン日本人会
会長 堀内 實

今年1月に突然の前会長の辞任に伴い、2000年新年会までの期間の日本人会長、私(ボストン日本語学校運営委員長を務めることになりました。

私(ボストン日本人会)も発会33年を経て、現在会員数約2千人、家族数約千三百を数える迄になりました。日本人会はそもそもが、グレーボストンを中心に、マチューセツ州在住の日本人の文化、福祉、慈善その他の活動を行い、相互の友情を奨励する為に設けられました。

現在その中心的な責任ある事業として、日本語学校(補習校)の運営があります。セミナー、コンサートや婦人会も活躍しています。

1月の新年会の後は、日本語学校の卒業式、入学式、運動会、6月には由紀さおり、安田祥子のコンサートがありました。これには、私(ボストン日本語学校)がバックコーラスをつとめ好評で、私も一緒に歌いました。8月にはケルメットのコンサートも行っており、皆満喫しました。10月にはフットボール大会をひかえています。日本ボストン会の皆様も、これらの行事へそれぞれの思い出をお持ちのことと思います。

日本ボストン会のイベントを見ると、お花見会、Mingの会、ゴルフ大会等、日本らしい行事で、どれも美味しい料理やレストランで締めくくられているところが羨ましい限りです。会の運営が財政的に苦しいことは私達と同じようです。

日本研修プログラムで日本に行く米国人教師のホムステの受入れにおいては、日本ボストン会のお力添えに大変感謝しています。

多様な会員のニーズ、要求および時代の変革に合わせて会則、行事を見直し、次期新会長へ、運営しやすい日本人会を委ねたいと思います。

(追記)12月20日(日)午後、東京ティンバナルにて、同志社グループ等によるエンゲルの時代を歌います。(私も歌います)。アメリカより指揮者(ウィリアム・フィリップス)の音楽監督 および3人のソリストを連れていきます。出来たら是非いらして下さい。お会いするのを楽しみにしています。 堀内實

日本/ニューイングランド交流の記録出版

8) 費用の項(1ページから続く.....)

(コピー代、表紙、目次、装丁等の費用は発行時に精算し、不足額があれば申受けます)

9) 執筆項目: 現在、以下の項目・担当者がほぼ決定しています。

- * 皇室とボストン
- * 日本の工業をリードしたMIT 人脈
- * ポーツマスで活躍したハーバード人脈
- * ボストンで活躍した研究者
- * 岡倉天心とボストン
- * 小沢征爾とボストンシンホニー
- * 日本に残るボストン関連遺跡
- * ピーボディミュージアム

なお、このほかにも担当者は決まっていますが、以下のような項目が考えられます。それ以外にも日本・ニューイングランドと歴史的に関わりが深いと思われる人物、事柄、場所などを思い付かれたら、是非ご寄稿をお願いします。

- * ジョン万次郎関係
- * 日本の近代化に貢献したニューイングランド出身の人々
- * パークレー音楽院、ニューイングランドコンサバトリーと日本人
- * ボストン美術館に貢献した日本人(天心以外)
- * ハーバード大学と日本(人)
- * ボストン大学と日本(人)
- * ボストンカレッジと日本(人)
- * アムハーストカレッジと日本(人)
- * ウェズリーカレッジと日本(人)
- * ラトクリフカレッジと日本(人)

10) 執筆申込先: 藤盛紀明 氏
Fax ()

11) 原稿・フロッピー送付先:(執筆申込者に執筆要領とともに連絡します)

音楽の会

11月11日(水)午後6時半開演
於 網町三井クラブ
中野翔太 ピアノの夕べ
主催 シーアンドシークラブ(代表佐々木涼子)
申込先 事務局 渡辺美恵子